



9月にをいかけ 存命の教祖のお伴を

8月大教会教会長会議

立教182年8月22日

大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.190824-0827-17
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)

Email: news@honjima.com
 発行部数: 897部 (先月比±0)

大教会 朝夕おつとめ時間
 [9月1日~9月15日]
 朝づとめ 午前6時15分
 タづとめ 午後6時45分
 [9月16日~9月30日]
 朝づとめ 午前6時30分
 タづとめ 午後6時45分

夏の全国高校野球(甲子園)は、ちょうど今、決勝戦が行われています。星陵高校(石川)と履正社高校(大阪)です。私はスポーツを応援するのが好きで、野球も1球1球が楽しく、いろいろ考へながら観戦しています。そこで今年の高校生1番のピッチャーと言われているのが、星陵高校の奥川恭伸選手です。今年の夏の大会では時速158キロの剛速球で四期連続の甲子園出場を決め、三回戦では強豪の智辯和歌山打線を寄せ付けず、延長14回を1失点(自責点0)23奪三振という圧巻のピッチングでした。

コントロールが良く、高校生はほとんど打てないのです。

この試合で奥川選手は165球を投げ、次の準決勝ではベンチ入りし、2年生の萩原選手が投げました。その間、奥川選手はいつでも投げられるように準備をしていましたが、萩原選手の好投で仙台育英に勝利しました。

続く準決勝の中京学院大中京戦では、

奥川選手が7回無失点の好投で、控えの寺沢選手と交替するのですが、その時も奥川選手はいつでもマウンドに戻るようにレフトを守りました。

私はこの大ピッチャーの控えて活躍した萩原選手と寺沢選手にも感動を覚えました。

どんなに奥川選手がエースで素晴らしいピッチングをしても、交替したピッチャーが打たれたら試合は終わりです。もし自分しかないと孤立感を覚えたり、いろんな重圧を背負ったら、実力通りのピッチングは難しくなるでしょう。

でも一緒に戦っている仲間を信じ、そしていつでもたすけてくれるという安心感があればこそ、充分に戦えるのだと思います。

明治20年陰暦正月26日、教祖が現身をお隠しになられたとき、

「人々は、全く、立っている大地が砕け、日月の光が消えて、此の世が真っ暗になったように感じた。(稿本 教祖伝第十章扉ひらいて)」

とあります。そして、

「人々は、皆うなだれて物を言う気力もなく、ひたすらに泣き悲しんで

いたが、これではならじと気を取り直し、内蔵の二階で、飯降伊蔵を通してお指図を願うと、(中略)

さあ、これまで子供にやりたいものもあつた。なれども、ようやらなんだ。又々これから先だんく〜に理が渡そう。

とお言葉があつた」

とあります。

「さあ〜これまで住んで居る。何処へも行ってはせんぞ。何処へも行ってはせんぞ。日々の道を見て思やんしてくれねばならん。(明治23・3・17)」

そこで9月は「全教一斉にをいかけデー」の月です。

本来、常ににをいかけをさせて頂くのが我々の使命ですが、その中でも9月は特に皆でこの教えの匂いを大勢の人々にかけていこうという「にをいかけ強調の月」となっています。

私たちのにをいかけには、常にご存命の教祖がお側で見守って下さっている、私たちはいつも教祖のお伴をさせて頂くという心で、陽気に勇んで歩かせて頂きましょう。

暑い中、大変ご苦労さまでした。

(文責・本島通信編集室)

子供に信仰が映るよう 教えに基づく日々を

大教会役員 池田さわみ

只今は大教会長様を芯に8月の月次祭を滞りなく勤めさせて頂き、ご同慶に存じます。御命を戴きましたので、神殿講話を勤めさせて頂きます。

この夏も少年会や学生会の皆さんをお育て下さる大きな行事が次々と開催されました。こどもおちばがえり、鼓笛隊夏季合宿、少年会おつとめ総会、学生会サマーキャンプ、そして学生生



徒修養会高校の部などです。

これらの行事は、実際に引率される方や、運営される方、裏方で準備や片づけをして下さる方など、大勢の方々のご真実、一手一つのひのきしんに支えられています。

おちばには子供達が笑顔で帰ってきます。お道知らない子供達も帰ってきます。おちばの温かい雰囲気にも包まれて、また来年もおちばがえりしたいと思うのだと思います。

振り返りますと私は大教会在籍の子弟として生まれ、お育て頂きました。大教会には大勢の子供がいました。夕方4時頃になると、神殿前や道路の掃き掃除、廊下の拭き掃除、夏の水撒きなどをしていました。

中学生のお兄さんやお姉さんが中心となって、遊びの延長のようなもので

したが、今思えばそれがひのきしんだったと思います。

私は知らず知らずのうちに、ひのきしんの態度や一手一つの和を学んでいたように思います。

ひのきしんとは、どんな人でも、日々の生活の中で実行できる親神様への感謝の心の行いです。日々、身体を使わせて頂く喜び、今日一日を無事無難に過ごさせて頂いた喜び、親神様に生かされている有り難さ、その喜びと感謝の心から発する行動はどんなことも「ひのきしん」です。

昨年も全国で大きな災害がありました。私の教会がある広島でも広範囲にわたり豪雨による土砂災害・浸水害がありました。

ご本部を中心に各教区から災害救援ひのきしん隊が派遣され、骨身を惜しまず被災された地域の方に寄り添って片づけをする隊員の姿に接して、被災された皆様は感謝の言葉を述べられていました。

天理教やひのきしんの意味を知らない方も、この災害隊の活動を通して何かを感じ取っていると思います。

災害隊は対外的に大きなひのきしん活動ですが、日々の生活の中で相手を思いやる心遣いやあいさつ、「あ

りがとう」というお礼の言葉、これらもひのきしんです。

おちばでは「ありがとございます」という言葉を多く耳にします。子供達が「ありがと」と言ってくれるそれだけで、私たち大人は元気をもらえるように思います。

このように、ひのきしんが有難い、嬉しいと受け止められるのも、子供の頃の経験が下地になっているように思います。

私が小学校低学年の頃、大教会神殿ふしんがありました。

大勢の方がひのきしんに来られて、非常に活気があったのを子供心に覚えています。

私たち子供は、朝夕に旧教会と普請現場を往復するとき、ひのきしん隊の先頭で鼓笛を演奏して行進しました。

これには事故、ケガのないように、皆さんの心の一つにするという目的があったのかもしれませんが。本島鼓笛隊がまだない時代です。

そして中学生になったとき、片山俊次三代会長様、片山昇委員長様(当時)が本島鼓笛隊を結成して下さいました。これは、少年会員が鼓笛隊を通じて生涯の教友として成長してほしい、そしてどこにも臆(おく)することなく志をもって

生活してほしいという思いからでした。私が在籍中、多い年は400人ぐらいの隊員が全国から集合し、厳しい合宿に参加しました。皆が一つに結び合い、心を合わせて行動することで、おちばでは皆さんが喜んで下さり、とても嬉しく誇らしかったことを思い出します。小さな経験ですが、一手一つの和を初めて感じました。

「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする(明治31・1・19)」とおさしづでお教え下さっています。

また、
「さあく、どんな物動かすも、持つて歩くも、大勢の力で自由自在、皆心の揃ったが自由自在。こちらが動いても、こちらが動かないというようでは、自由やない。(明治35・6・18)」
「二つ手が繋がにやならん。切れた事なら切れた処から火が入る、風が入る、水が入る。怖い恐ろしい。誠続く理があれば、どんな中でも怖い事は無い。(明治24・12・19)」

ともお諭し下さっています。
「二手一つ」とは皆が同じ動作をするとか、主体性のない単一になるということではありません。

私たちは一人ひとりそれぞれ心が違い、持ち味、性格、徳分もみな違います。立場、

経歴、環境、能力もそれぞれ違っているお互いが、親神様の思召を思索し、心を合わせそれぞれの徳分、持ち場・立場の上で精一杯つとめていくことが一手一つの和であり、その中で親神様のお働きを少しでも身に感じさせて頂ける日々でありたいと願っています。

私は教会生活の中で、大教会長様を始め多くの先人先輩方に見守られ、お育て頂いたことで、ようぼくとして「ひのきしんの態度」「一手一つの和」を身につけられたことが本当にありがたいと思います。そしてお育て頂いた私たちが、次の世代にお伝えしなければならぬ責任も感じています。

子供が理解できるようになるまで待つのではなく、小さい時から信仰の喜びを知らず知らずのうちに体得できるように私達ようぼくが率先して教えに基づく日々を通して頂くことが大切だと思えます。

さて、8月9日から15日までの1週間、学生生徒修養会高校の部が開催されました。私は担当委員としてお世話取りさせて頂いております。今年は8名の学生が受講されました。

毎年感じるのですが、始まる時は非常に不安な顔をして出発します。

しかし修了したときの笑顔の中に、1週間がどれほど充実していたのかをしつかり感じ取ることができました。

この学修もスタッフの皆さんは事前研修会、直前研修会と研修を重ね、学生の世話取りをしながら成長されると聞いております。

学生は素直な心で多くのことを学んで帰ります。親里での1週間は、信仰の土台と言いますか、学生がこれから出会う嬉しいこと、悲しいこと、苦しいこと、いろいろな経験を上上の糧(かた)になると思います。そして学んだことを日々の生活に活かしていけるように、家族で実践することが陽気ぐらしへの歩みとなると思います。

また、親神様は思いがけない喜びを見せて下さることがあります。それは、こどもおちばがえり期間中のことでした。天理本通りで偶然、この春高校を卒業し社会人になったA君に会いました。

彼はかつて学修に来る夜行バスに乗り遅れ、早朝の新幹線で集合時間ぎりぎり到着したことがあるので記憶に残っている一人でした。

「どうしたの」と声をかけると、教区の少年ひのきしん隊のカウンセラーとして、いまから地元に戻るところです

と、日に焼けた顔で話してくれました。彼は働きながら教区の御用も勤め、成長している姿を見せてくれて、本当に嬉しく思いました。

少年会、学生会、青年会、女子青年と、育つ少しの間だけ関わる私たちですが、その時々を大切に、言葉や行いで陽気ぐらしを映すことで、将来のお道の人材育成につながるよう努めさせて頂きたいと存じます。

最後に9月は「にをいかけ強調の月」です。外に向かっても、内に向かっても、にをいかけ、おたすけの心で共に通らせて頂きたいと存じます。

ご清聴ありがとうございました。
(文責・本島通信編集室)

「学生生徒修養会高校の部受講者名簿」

(立教182年8月9日～15日)

■受講生(3年生)▼同朋△吉井嵐望

赤峰△宇野七美恵

(2年生)▼大隅聖峰△伊藤弓笑

峰△向所純平

(1年生)▼渋谷△永島颯

▼本府中△吉田とおこ

▼實峰△山内彰子

▼吉松峰△吉野ふみ奈

【計8名】

▼講師・スタッフ

▼本京△牧野善明

▼本千代△吉田貴慶

▼本備前△伊東賢太郎

▼本九台△原口いつほ

▼栄東峰△川村美穂

【計5名】

八月月次祭 祭典役割

| | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|------|
| 神殿講話 | 池田さわみ | ちやんぼん | 井上 哲 | てをどり | 大教会長 | 座りづとめ | てをどり前半 | てをどり後半 | |
| | | 拍子木 | 窪田靖明 | 岡山俊郎 | 片山 勲 | 片山 肇 | 老木邦光 | 寺本教生 | 永島宗行 |
| | | 太鼓 | 高島清弘 | 池田さわみ | 岡崎八十則 | 永島宗行 | 後藤正治 | 老木邦光 | 大上道徳 |
| すりがね | 寺本教生 | 向所暉美子 | 岡山敏恵 | 原口 実 | 後藤正治 | 寺本教生 | 大上道徳 | 大上道徳 | |
| 小鼓 | 雲庵道延 | 雲庵まち子 | 伊東晴美 | 片山 榮 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | |
| 三味線 | 片山 孝代 | 岩橋竜造 | 岩橋守行 | 片山 榮 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | |
| 胡弓 | 老木加代子 | 牧野ハル子 | 長門 淳一 | 宮本幸子 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | 大上道徳 | |

献饗長 牧野道昭
伝供 井上哲・篠原不王・岡崎八十則・岩橋竜造・平井真治
 郎・向所隆文・原口実・後藤正治
 奥村龍夫・伊東康成・雲庵春彦
 高島栄造・宮路和徳・茶屋原良昭
 上野作也・位下道治・渡部友見
 鎌田典夫・宮路茂照・山下英久
 須崎晴道・村田輝夫・井上方・溝口晋太郎・上山康雄・倉嶋孝明
雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・大矢万三・横関茂治・片山直明・長尾海和・岩橋守行・伊東賢太郎・鎌田康典(順不同)

八月月次祭祭文

立教百八十二年八月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。
 親神様には「ちづくにをやのしやんとゆうものわたすけるもよふばかりをもてる」どの深い親心から、この世の真実のをやを明かし、陽気ぐらしへの道へとお連れ通り下さいます御慈愛の程はまことに有難く勿体ない限りでございます。
 私共は、届かぬながらも御恩報じを念じて、教えに基づく生き方を求め、日々心勇んで銘々にお与え頂く旬々の御用を通して、世界だすけの思召に添わせて頂けるよう、懸命に励ませて頂いております。
 その中にも今日の吉日は、当大教会の月毎の御祭日を迎えましたので、只今から役目に与るおつとめ奉仕者一同、御教え通りに一手一つに心を揃え、陽気に勇んで座りづとめ、てをどりを勤めて、八月の月次祭を執り行わせて頂きます。
 御前には、この日を楽しみに帰り集いました教え子達がおうたを唱和して、御厚恩にお礼申し上げ、なおも親心にお継りする真実の状をも御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。
 加えて、この夏も恒例のおらばで開催下された道の子弟育成の様々な活動では、尊いおらばの理にお抱え頂いて、感謝と喜びを胸に、それぞれ地へと帰らせて頂きましたことを心からお礼申し上げます。

尚、九月は「にをいがけ強調の月」として、より一層御教えを広めることに意識を強めて、日々を歩ませて頂きたいと存じます。又、本年からは、これまでの地域における横の活動に加えて、縦となる直属教会も、この月をしつかりと意義あらしめて行こう」とのご提唱を頂き、この上から、当大教会と致しましては、九月は部内全教会がそれぞれ「にをいがけの日」を定めて、教会につながるよふばく、信者の方々と共に、時旬のをやの声に沿わせて頂き、実施に当たっては「おらばへ人を導かせて頂く心」をもって、実動に努めさせて頂く所存でございます。
 何卒、届かぬところ幾重にもお仕込み下さいまして、この上共に、天理王命の神名が土地処にゆき渡り、新しい芽生えの御守護をお見せ頂きますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。
 (原文のまま)

入社祭

立教182年8月22日

▼本備前△内田和彦 ▼都峰△内野知可子 (計2名)

8月22日(木)
【香川県丸亀市】

天候 晴後曇

最低気温 26.0℃

最高気温 32.8℃

平均気圧 1008.4 hPa

平均湿度 76%

平均風速 1.8 m/s

日照時間 6.5 時間

降水量 1.5 mm

※ 降水量は一日の総雨量

立教182年ごどもおぢばがえり

本島団鼓笛隊 第108回夏季合宿

本島団鼓笛隊(鎌田典夫部長)では、7月26日から8月5日までの日程で、第108回夏季合宿を実施しました。

今年「少年会本島団おつとめ総会とおぢばの集い」が8月4日と5日に本島詰所で開催されたことから、期間を延長し5日までの合宿となりました。

7月26日夕刻大教会に集合し、夜に開講式を行い、一つの心で合宿に臨みました。



りました。午後は高校生リーダーのうち4名が別席、隊員はバラエティー1182に参加しました。

期間中は晴天に恵まれ、猛暑の中ではありませんでしたが、夜の屋外練習を取り入れたほか、今年はおつとめの練習にも力を入れました。

レクリエーションでは海水浴、スイカ割り、あめ玉競争などを楽しみました。

8月1日はおぢばへ移動し、神殿にておつとめ、教祖殿・祖霊殿参拝後、廻廊ひのきしんに参加し、夜はおやさとパレードを見学しました。

2日は今年最後となる「おやさとパレード」に出演。

3日は御供演奏、テーマソング「大好きなおぢばへ」を心を込めて演奏しました。続いて鼓笛オンパレードでは、ドリーム隊がコーヒープレイク、エレメンタリーマーチを元気に演奏行進しました。続く本隊は東京デイズニーシー出演使用曲「闘志を燃やせ」を堂々と演奏行進し、最後は審査員席への敬礼が見事に決ま

ました。午後高校生リーダーのうち4名が別席、隊員はバラエティー1182に参加しました。夕刻は詰所講堂にて後夜祭。華麗なショーを披露しました。4日は第54回総会を開催。大教会長様より「おつとめを一手一つにつとめる大切さと、仲間を大事に、これからも通つて下さい」とお話がありました。その後のパーティーでは、リーダーや高校生の出し物と手作りのグルメメニューを頂き、楽しいひとときを過ごしました。

夕刻よりおつとめ総会とおぢばの集いに参加。5日はおつとめ総会を勤めた後、本部御礼参拝後、解散となりました。参加人員は、ドリーム隊29名、本隊54名、高校生6名、リーダー44名の計133名。鼓笛オンパレードでは、ドリーム隊が奨励賞、本隊が金賞、ドリームチームが優秀演技賞を受賞しました。

第30回おつとめ総会とおぢばのつとめ



とめ着に着替えた少年会員は詰所4階講堂に集合。大教会長様のお手に合わせて親神様、教祖、祖霊様を遙拝した後、おつとめまなびを行い、一生懸命に練習した成果をたくさんの方々に披露していただきました。

少年会本島団(岩橋竜造団長)では、8月4日から5日まで、本島詰所において「第30回おつとめ総会とおぢばのつとめ」を開催。

例年、大教会を会場に行っているおつとめ総会ですが、海外や北海道の少年会員も参加できるように数年に一度、おぢばで開催しています。今年少年会員89名、育成会員60名が集いました。

4日午後6時から開会式を行い、祭儀式の練習を始めおつとめのリハーサルを行いました。その後、ゲームとおたのしみ抽選会を行いました。5日は午前8時30分、おつ

続く総会では、少年会長様の御告辞を頂き、大教会長様より「親神様は私達人間が喜べることをたくさん身の回りに用意して下さいます。それに気付くことの出来る人になりましょう。また、この世の中のものはずべて、陽気ぐらしが出来るように、親神様をご用意くださったものです。粗末になることのないように、ものを大切にしましょう。ものを大切にすれば、人を大切に出来る人になってきます。そして、自然に仲良くなすけあうことが出来るようになります。」とお話がありました。

各地の動き

本島学生会サマーキャンプ

本島学生会(片山香葉子委員長)では8月6日から7日の日程で「サマーキャンプ」を実施、学生11名、スタッフ3名の14名が参加しました。

6日午前10時に詰所に集合し、鼓笛隊夏季合宿とこどもおぢばがえりの片付けひのきしんを行いました。7日はお楽しみ行事として長島スパーランド(三重県桑名市)に行き、絶叫マシンや温泉などを楽しみました。夜には天理市内の焼肉店で親睦を深めました。



MOMOの会

婦人会本島支部(片山かおり支部長)では、若いお母さんと少年会員を子育て中のお母さんを対象としたMOMOの会を、8月4日午後6時より本島詰所において開催。初参加9名を含む14名が参加しました。

宮路そのよ霊峰分教会長夫人より、里親と子育ての話が行われ、続いて子育てについて活発な意見交換が行われました。

天理高ハレー部が赤峰合宿

全国高校総合体育大会(インターハイ)は今夏、南部九州において開催され、天理高校バレーボール部男子(山下貴弘監督)一行43名が赤峰分教会(宮崎県都城市)において、7月28日より6泊7日間の合宿を行いました。

試合は、7月31日の予選グループ戦では、えびの市真幸



試合の様子(8/1)

地区体育館において、鹿児島商業高校にセットカウント2対0で勝利し、創部以来初の決勝トーナメントに進出。翌8月1日は1回戦、都城市早水公園体育文化センターにおいて、大村工業高校(長崎)と対戦。セットカウント1対2で逆転され競り負けました。

なお、片山好次君(大教会長二男、3年)が初戦にピンチサーバーで出場し、得点して勝利に貢献しました。

その他、赤峰分教会には京都府立西城陽高校ソフトテニス部男子(池田征弘監督)一行25名が7月25日より3泊4日間宿泊し、インターハイに出場しました。

樺太分教会おとまり会

樺太分教会(平井真治郎会長、北海道美唄市)では、8月10日から1泊2日で教会おとまり会を実施。今年は大教会長巡教と重なり、「大人も子供も教会おとまり会」として少年会員10名、学生3名、育成会員17名が参加しました。

今年「感謝・喜び・助け合い」をテーマに、教話、おてふり練習、プール行事、焼肉、花火、室内レクレーションなどで楽しく盛り上がりました。



赤峰分教会おとまり会

赤峰分教会(向所隆文会長、宮崎県都城市)では8月13日より2泊3日間、赤峰少年会教会おとまり会を実施。少年会員13名、育成会員10名が参加しました。

今年台風10号接近の影響で日程がすべて屋内行事となり、教話、鳴物稽古、室内オリピック、ポートルイト撮影会などを行いました。また期間中、食事を4回自炊しました。最終日の祭典直会では、婦参者全員と一緒にダンスを踊りました。



事情はいつ

(立教182年8月26日)
本水島分教会
 神殿屋根葺替願
 遷座祭日願
 遷座祭 立教182年9月6日
 臨時祭典願

鎮座祭 立教182年11月3日
 奉告祭 立教182年11月4日
 以上

おさげお取り次ぎ報告

(立教182年8月22日)

提出教会 27教会
 報告数 1,504回
 累計 11,390回
 ※前年同月累計比 129.9回減

おさげの理拝戴

(立教182年7月分)

▼エヌ・シー△ブライトン・カ
 ブノブ・ウオン△シコラ・ライ
 リー・クレイトン△山田ジエニ
 ファー ▼キャピタル△老木ラ
 イアン・トシミ
 【計4名】

証拠守り下附

(立教182年7月分)

別峰3、カカコ3、サウザンパ
 フィック2、ハリウッド1【計9名】

をびや許し

(立教182年7月分)

▼本恵△藤原梨恵 ▼本海△
 岩橋玉恵 ▼銀峰△巻島明里
 【計3名】

大教会長動向

▼9月(予定)▼

2日、本島大教区にをいがけ日
 3日、香川教区役職者会議
 5日、17日、アメリカ巡教
 6日、7日、SP教会鎮座奉
 告祭、創立90周年記念祭
 8日、ウイルソン教会巡教
 15日、アメリカ伝道庁参拝
 19日、本篠分教会巡教
 22日、大教会月次祭執行
 23日、大教会秋季霊祭執行
 24日、修養科総立まなび
 25日、かなめ会委員会
 26日、本部月次祭参拝
 28日、30日、にをいがけデー
 28日、路傍講演
 30日、本部神殿奉仕当番

るつげ

(立教182年8月分)

▼本島△片山幹太・片山か
 おり・香葉子・幹太郎・好
 次・昇太△片山秀明△長尾
 真美・幸太△藤山さちよ△
 吉田道則 ▼樺太分教会
 ▼本樺△大上ほの香・はる
 香・大吉 ▼本浜△片山清
 枝・正枝・誠 ▼本攝分教
 会 ▼崇徳分教会 ▼赤峰
 分教会 ▼ポートランド教
 会△片山和信・陽子・昇慶・
 竜次 ▼エヌ・シー教会
 ▼シータック教会
 ご芳志に厚くお礼申し上げます

統計 (7月1日~31日)

| 教会名 | 初席 | 中席 | 委身壇 | 修養科 | 教人講習 | 検定講習 |
|---------|----|----|-----|-----|------|------|
| 本島 | 1 | 1 | | | | |
| 本盛 | 1 | 1 | | | | |
| 本豪 | | | | | | |
| 本倉 | 1 | 1 | | | | |
| 本雄 | | | | | | |
| 本鶴 | | | | | | |
| エヌ・シー | | | 3 | | | |
| キャピタル | 1 | 1 | 1 | | | |
| カザバフィック | 1 | | | | | |
| 合計 | 5 | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 |

天理教 三日講習会 日程表

2020年1月~12月

I 気づき

| | | |
|-------------|---|----------|
| 1月 17日(金) | ~ | 19日(日) |
| 4月 3日(金) | ~ | 5日(日) |
| 5月 3日(日・祝) | ~ | 5日(火・祝) |
| ★6月 5日(金) | ~ | 7日(日) |
| 9月 20日(日) | ~ | 22日(火・祝) |
| ★10月 16日(金) | ~ | 18日(日) |
| 11月 17日(火) | ~ | 19日(木) |

II 深め

| | | |
|-----------|---|----------|
| 1月 31日(金) | ~ | 2月 2日(日) |
| 5月 29日(金) | ~ | 31日(日) |
| 7月 3日(金) | ~ | 5日(日) |
| 8月 18日(火) | ~ | 20日(木) |
| 11月 1日(日) | ~ | 3日(火・祝) |

III 広め

| | | |
|-------------|---|--------|
| 3月 20日(金・祝) | ~ | 22日(日) |
| 6月 17日(水) | ~ | 19日(金) |
| 9月 4日(金) | ~ | 6日(日) |
| 12月 4日(金) | ~ | 6日(日) |

※同じ月にI、IIまたはII、IIIを続けて受講することはできません。

★(6月と10月のI)は、教会長・配偶者体験コースも併設します。

●申込状況はホームページからも確認できます。

●願書はホームページからダウンロードできます。

詳しくは三日講習会ホームページをご覧ください。

三日講習会 | 検索



訃報

本三分教会長

関 信男氏



関信男氏(本三分教会4代会長)

は8月23日午後8時49分お出直
 しになりました。享年91歳。

葬儀は、みたまうつしが8月
 27日午後6時より、告別式が翌
 28日午前11時より、牧野道昭本
 京分教会会長齋主のもと、本京分
 教会(東京都練馬区)にて執り行
 われました。

関信男氏略歴 昭和2年9月15
 日生まれ。昭和36年7月25日、
 おさげの理拝戴。昭和48年6
 月27日、修養科第384期修了。同
 年12月16日、教会長資格検定合
 格。昭和49年1月10日、教人登
 録。同年2月26日、本三分教会
 4代会長拝命。
 教会長在籍期間45年6ヶ月間。



全教一齊にをいがけデー

【布教部】

- 期間：9月28日より30日まで
- 全教会で「にをいがけ日」を定めましょう

九州ブロック「地域の集い」

【教会長子弟育成委員会】

- テーマ：「共に道をつないで」
- 日時：11月10日(日)午前10時より午後3時30分
- 会場：赤峰分教会福岡布教寮
福岡市中央区清川2-6-5
(JR博多駅、西鉄天神駅より徒歩20分)
電話：092-791-3642
- 対象：教会長子弟に限らず、どなたでも参加できます
- 内容：ワークショップ、親睦会
- 参加費：500円
- ご連絡、お問合せは下記担当委員まで
原口実(090-4533-4973)
雲庵春彦(090-2515-8039)
宮路和徳(090-3739-3414)
- 参加申込みの締切はございません

レッツゴー青年会 勇み隊

【青年会本島支部】

- 日時：9月14日(土)午前10時～
9月16日(祝)午前11時30分
- 場所：本島大教会
- 内容：海の家片付けひのきしん等
- 持ち物：ハッピー、ひのきしんのできる服装と靴、宿泊道具
- 参加費：なし
- お問合せ先：
片山秀明(Tel 080-6785-0031)
伊東賢太郎(Tel 080-8738-8349)
鎌田康典(Tel 080-6103-2245)

雅楽講習会

【青年会本島支部】

- 日時：10月12日(土)～13日(日)
- 会場：本島大教会

青年会本島分会総会

【青年会本島分会】

- 日時：11月23日(祝)
- 会場：本島大教会

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

第29回女子青年大会

【婦人会女子青年部】

- 日時：11月2日(土)正午本島詰所集合、3日(日)午後2時ごろ解散
- 内容：別席または基礎講座受講、よろこびフェスティバル、式典、支部のつどい
- 参加御供：500円(詰所の宿泊食事御供は各自詰所をお願いします)
- 送迎：11月1日夜、関東(本京分教会)と九州(JR吉塚駅)から送迎車を運行します
- お問合せ：原口いつほ
(090-6232-7711)

女鳴物勉強会

【婦人会本島支部】

- 日時：9月22日(日)夕づとめ後
- 会場：本島大教会神殿

9月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：9月21日～23日
- 派遣教会：本攝②、安藝本中①

〈詰所炊事ひのきしん〉

- 期間：9月24日20:00～26日13:00
- 派遣教会：本京②、本邦①

秋季霊祭のご案内

【本島大教会】

9月23日、大教会で執り行われる秋季霊祭には、左記の霊様が年祭に当たっておられますので、ご連絡いたします。

- 一年祭 上野金治主 (本島)
- 五年祭 山下弘子刀自 (本水島)
- 十年祭 谷川クミ子刀自 (本島) 長濱一成主 (本岡崎) 永山一男主 (本島)
- 二十年祭 永山澄子刀自 (本島) 篠原智識主 (本中国) 清水二三主 (本柳)
- 三十年祭 永山フクエ刀自 (本島) 長濱國吉主 (本岡崎) 岩橋千代刀自 (琴浦) 和田久子刀自 (本阿波) 中島ノブ刀自 (ワイルク) 藤井照子刀自 (分ワド)
- 四十年祭 谷川亘主 (本島) 藤山秀子刀自 (本攝) 山根久直主 (エマシ)
- 五十年祭 今村キヨウ刀自 (安藝本中) 以上

※教会名は連絡先であり、実際の所属とは異なる場合もあります。 ※祖霊殿での年祭がなく、墓前祭のみの御霊様も掲載しております。

にをいがけ名簿提出教会 (8月)

| | | | | | |
|----------------|----|--------------|----|-------|----|
| 本島 | 0 | 本日米 | 1 | 大雄峰 | 36 |
| 本樺 | 15 | 本山海 | 5 | 雄福峰 | 20 |
| 本室 | 6 | 本備前 | 15 | 雄山峰 | 7 |
| 渋谷 | 18 | 本府中 | 3 | 栄森峰 | 34 |
| 御幸濱 | 5 | 崇徳 | 17 | 栄東峰 | 20 |
| 本桶川 | 12 | 本廣 | 3 | 霊峰 | 2 |
| 代々木 | 30 | 本新田 | 6 | 實峰 | 48 |
| 本萬代 | 2 | 赤峰 | 9 | 吉松峰 | 47 |
| 本都 | 59 | 吉峰 | 4 | 仙峰 | 12 |
| 本京 | 26 | 豪峰 | 13 | ハリウッド | 1 |
| 本草 | 20 | 倉峰 | 8 | | |
| 本恵明 | 7 | 栄峰 | 52 | | |
| 計 34 教会 | | 566 名 | | | |